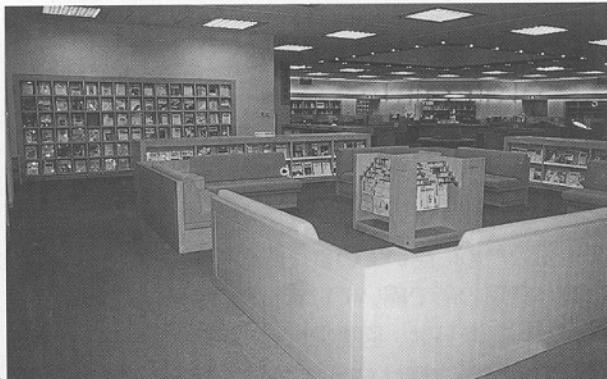




## 社会・自然系資料室のご案内

「趣味の本はありませんか?」と聞かれことがあります。趣味は人によって様々です。料理や編み物、庭いじりなどは、この部屋の自然系資料を案内します。釣りや登山、旅行なら4階の人文系、推理小説だったら1階の小説読物室になります。どこのカウンターでも気軽に声をかけ、自分が求める資料探しを楽しんで下さい。

さて、3階の社会・自然系資料室はどんな本を置いていますか? 社会科学および自然科学関係の本を置いています、と答えるのが正解です。が、これでは答にならないかも知れません。この部屋の資料の構成については、階段を上がった所に掲示されている案内図やカウンターに用意した一枚物の案内図が役に立ちます。もっと本格的に調べたい方は、同じくカウンターに常備の『日本十進分類法』を参考にして下さい。



この部屋の資料は、新聞・雑誌・図書の3種類に大別されます。資料を直接手に取っていただける閲覧室(開架室)に、新聞は20紙(社会、自然系各10紙)、雑誌は500タイトル(社会、自然各250タイトルのほぼ最新の一年分前後)を出しています。それらは、エレベーターと階段に挟まれた中央に位置しています。雑誌の新しい部分は、これ以外にも数十タイトルを分散配置しています。

また、よく利用される雑誌は合本製本したものと、一般図書のコーナーにも配架しています。社会、自然あわせて数十タイトル、各タイトル過去20年前後の期間。ただ、このコーナーの法律関係の雑誌は、資料の性格から古い時代のものもよく利用されるため、『法令全書』や各種判例集とともに、所蔵する最初の部分から配架しています。加除式の『判例体系』や『基本行政通達』も同じコーナーに、大きな位置を占めています。

新聞の多くは一年保存ですが、3階書庫(カウンターの背後にあります)に約90種あります。また、現在継続して受け入れている雑誌は社会系自然系あわせて2150タイトルあり、その多くの新しい部分もやはりこの階の書庫にあります。

それらについては、閲覧室に出ていない新聞とともに、『新聞雑誌受入目録』を手に取って下さい。この目録は新聞・雑誌のタイトルからも引けますし、どんな種類の雑誌があるのかが分かる《分類編》も付いていて便利です。

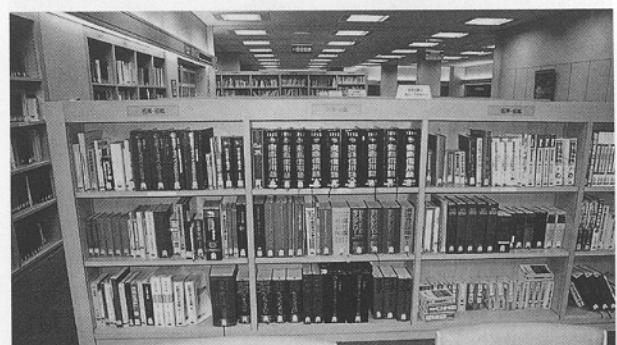


図書は、閲覧室に社会系、自然系合わせて10万4千冊を出しています。それは、参考図書と一般図書に大別されます

参考図書は、資料の性格にしたがって〈名簿〉〈書誌目録〉、〈統計白書〉、その他のコーナーに分かれています。詳しくは一枚物の案内図をご覧下さい。

会社や学校について調べたい。医師や病院について調べたい。それは、社会系や自然系の〈名簿〉コーナーになります。

『国勢調査報告書』や『商業統計表』、よく利用される『路線価図』は社会系の、『農林センサス』や『工業統計表』、『事業所統計報告書』の類は自然系の〈統計白書〉コーナーにあります。国が出している白書も、分野によって社会、自然と分かれています。



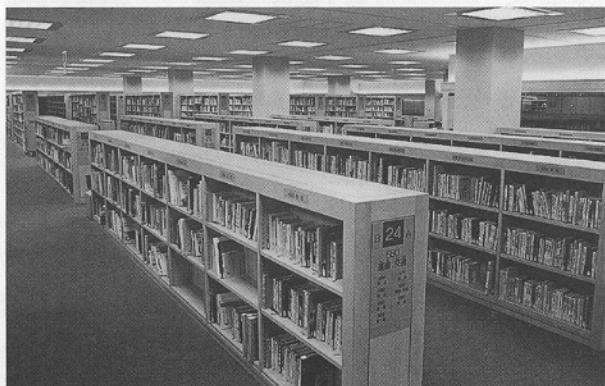
あることについて、ちょっとつっこんで調べたい。そんな場合に時として役に立つのが〈書誌目録〉コーナーの参考図書です。その分野でこれまでどんな本が出版されているか、どんな雑誌に記事が載っているかなど、参考になることがあります。例えば、利用のコツを知っているととても使い勝手のいい“大宅壮一文庫”の雑誌目録は、社会系のこのコーナーにあります。



参考図書コーナーにはこの他、社会系には〈法令判例索引〉コーナー、また自然系には、『科学技術文献速報』や日本・アメリカ・ドイツなどの規格のハンドブック類、大型本の都市計画地図集などを配したコーナーもあります。

以上の参考図書類は、カウンター近くの低書架にあります。

そこない一般参考図書が、カウンターから左右にひろがる壁面に配架されています。辞事典、各種法令・資料集、年表や調査報告書等。今生きている法律のすべてを収める加除式の『現行日本法規』、それに『官報』や大阪府が発行する府政資料も、社会系のこのコーナーに置いています。



これまで紹介してきた参考図書類は、新聞や雑誌とともに貸出ができません。必要な部分は複写をお願いすることになります。(なお、雑誌の最新号は著作権法の規定によりその複写もできません)貸出は不可ですが、そのかわり何時来ていただいても、その資料は存在し、手に取ることができる。そのようにご理解下さい。

さて、先に新聞・雑誌を除く図書は、参考図書と一

般図書に大別されると紹介しました。広い閲覧室で一番大きなスペースを取っているのが、この一般図書です。カウンターを背にして、左右に見える高書架とエレベーターと階段の後に位置する低書架に配置されています。自由にご覧になり自由に借りていただける本のグループです。ゆっくりじっくり手に取ってご覧下さい(なお、このグループの中に、ラベルの上に《館内》とある図書が少しあり、この本は貸出ができません)

一般図書は、日本十進分類法に従って配列しています(例外は、同和資料コーナーおよび日経新書=社会系、講談社のブルーバックス=自然系を一か所に集めたコーナーだけ)

なお自然科学系の一般図書コーナーには、科学技術関係の図書として先にあげた『科学技術文献速報』以外に、ケミカル・アブストラクト、バイルシュタイン、グメリングなどの洋書があります。これらは、利用される方が専門的知識をもっておられ、自在に使いこなされ重宝がられている資料です。



以上、主にどこに配置しているかを中心に、社会・自然系資料の大ざっぱな紹介を致しました。

何分広い閲覧室です。3階にしかない複写室や屋上庭園、それにトイレや電話の所在場所の案内も簡単ではありません。

カウンターでの職員の仕事は、貸出返却作業や資料に関する相談への対応、外からかかる電話の応対などが中心ですが、それと同時に、利用者のみなさんには直接目に写らない部分での仕事もたくさんあります。しかし、少しでも快適に利用していただけるよう、一生懸命サービスにつとめています。

何かと不案内の部分は、まずは気軽に声をかけるところから始めてみて下さい。